

体験発表会の打ち合わせの様子

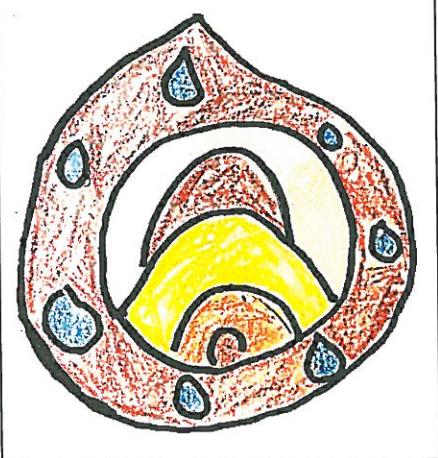
10月3日、アンジュールにおいて、会員十数人が、27年度に、取り組む体験発表会とその広報活動について話し合いました。

宮崎では初めてとなる体験発表会で、高次脳機能障がいの当事者と家族の、受傷してから今日に至る体験に思いを馳せていただき、同じような生活のしづらさを抱えておられる方々にあかり～希望を伝える機会にしたいということになり、あかりのロゴやリーフレット案を決めました。

また、この取り組みに、できるだけ多方面の方々に参加していただけるよう、繁華街での共同募金の活動に参加したり、フローランテで行われる「みやざき福祉けんこうまつり」での広報に取り組むことになりました。



あかりのロゴ



作：岩切みさと

10月17日（土）、体験発表に向けたPR活動について、具体的な取り組みを話し合い、まず、10月25日（日）の午前中に県総合保健センターで行われる高次脳機能障がい市民講座に参加、体験発表会をPRすること、同日午後、宮崎山形屋前で共同募金活動を行い、「あかり」をPRすること、11月3日、文化の日にフローランテみやざきで行われる「みやざき福祉けんこうまつり」に、就労支援事業所「いつかの杜」の協力を得て参加し、「あかり」のPRと体験発表会の案内を行うことと、当日の集合時間等を決めました。

みやざきふくし祭りにおけるPR活動の様子



11月3日、フローランテみやざきで開催された「みやざき福祉けんこうまつり」の会場に、みやざき高次脳機能障がい家族会あかりの会員17名が集まり、揃いのあかりのロゴ入りブルゾンを着込んで、体験発表会のPRリーフレットを配りました。

皆さん、初めてのことに戸惑いが見られましたが、天候も良く、お客様も、沢山、見ておられましたので、1時間もしないうちに、400枚のリーフレットが無くなる盛況でした。

あかりの会員も、一緒に活動することで、仲間意識がさらに強まったと感じました。



高次脳障がい体験発表会の様子



12月19日（土）14時から、宮崎市民プラザ4階大会議室において、高次脳機能障がい当事者・家族の体験発表会「みんなと繋がりたい」を開催、約40名の参加がありました。

まず、長友会長から、あかりの発足から5年を経過し、高次脳機能障害に対する理解を進めるため、体験発表会を開催したと趣旨を説明した後

脳出血から心臓疾患も併発して、入退院を繰り返した当時を振り返った男性当事者は、現在、通所している就労支援事業所での地域の高齢者から、声をかけていただくのが嬉しいと答え、

交通事故後の骨折や肺挫傷等から回復したものの、家族とのトラブルを繰り返した、あかりとの出会いから穏やかさを取り戻した息子さんとの葛藤を訴えた母親は、親亡き後をあかりでの繋がりに求め、

同じく交通事故で受傷してから半年近く意識が戻らなかった女性当事者は、事故の発見者や消防の救急救命士、搬入された脳神経外科病院の主治医のお陰で今があると感謝した後、一般就労を果たした現在、仕事場での同僚の援助や参加している消防団活動で周囲の理解を得ている様子を話しました。

これらの発表を受けて、県北の高次脳機能障がい家族会「とうもろー」の秋吉会長が「それぞれ、九死に一生を得たが、いろいろな困難を乗り越え、今がある。これからも、怒ったり、笑ったりと言われた母親の発言が印象的」という会員へのツールをいただき、最期に、木村副会長から参加者に「あかりの活動への支援」を要請して、閉会しました。